

「市比野小学校の文化財探訪の取組」

1 学校名

薩摩川内市立市比野小学校

2 学年・人数

5年1組 35人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

- ・ 学習会：6月～12月 ふるさと・コミュニケーション科の時間
- ・ 文化財ウォッチング：9月，10月

櫟野駅跡，馬頭観音，牛鼻の逆修塔群
下之湯の舟着場跡，久木の野城跡
田の神

- ・ 発表資料作成：平成29年10～11月 ふるさと・コミュニケーション科

(2) 発表の日時・場所

① 平成29年12月8日（金）

小中一貫教育交流学習 薩摩川内市立樋脇中学校

4 活用に取組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

いちのえき えんりやくねんかん
櫟野駅（延暦年間）

ばとうかんのん
馬頭観音（昭和9年）

うしばな ぎやくしゅうとうぐん
牛鼻の逆修塔群（戦国時代）

しものゆ ふなつきば
下之湯の舟着場（明治12年）

くき のじろ
久木の野城

た かみ
田の神（江戸期3，昭和戦前1，昭和戦後6，不明6）

(2) 特徴

田の神は江戸時代中期頃から，薩摩藩支配地域で造立されていた。普通はシキをかぶり，しゃもじ，お椀にすりこぎを持っている。自然石に文字を彫ったもの，仏像や神像を利用したものなどいろいろある。農民は毎年田の神に稲の豊作をお願いして祈っていた。

5 保存会や地域との連携の具体

ふるさと・コミュニケーション科で，地域の文化財について調べている。近くに郷土館や図書館もある。今後は，樋脇地域在住の郷土史に詳しい講師を招いて講話を聴く機会も設けたい。

6 活用の取組の工夫した点

記録として，いつでも活用できるように写真を保存している。

7 取組の様子（遺跡、史跡）



【馬頭観音】



【牛鼻の逆修塔群】



【岩下の棚田】



【丸山】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

いろいろな遺跡や史跡，田の神があることに驚いた。市比野は温泉（いで湯）が有名だが，お米や果物もたくさんとれるところだと分かった。

【教員】

ふるさと・コミュニケーション科や社会科で，活用できる地域素材や地域人材があることを知り，大変よい機会となった。今後，積極的に活用していきたい。

【地域の方から】

昔から伝わる地域の史跡などを若い世代や子どもたちに引き継いでいきたい。